

## IOTA/EA におけるデータアーカイブの概要説明

注意: 以下の取り決めは 2023 年 7 月末時点でのものであり、今後の状況に応じて変更する。

### 1. IOTA/EA の「アーカイブ」の定義

- ・探査機ミッション関連など、特に重要と思われる組織的なキャンペーン観測の生動画データをアーカイブするためのものである。個人による呼びかけで行われる小グループによる観測データを保持することは範囲外とする。
- ・論文出版時に元データにたどれるようにするために動画ファイルと付随する生データを保持するのが目的である。

### 2. アーカイブデータの利用

- ・データアップロードした観測者はデータが公開されることに同意したものとする。
- ・IOTA/EA のアーカイブデータは観測提案者(PI)が定めるデータ保護期間の終了後は誰でも利用できる。
- ・科学論文にデータを利用する際は IOTA/EA のアーカイブデータを利用した旨、謝辞を記載すること。

### 3. データ置き場

- ・当面はクラウドストレージサービスである”pCloud”を用いる。
- ・観測キャンペーン毎にフォルダーを作成し、個人がアップロードする際にその中にフォルダーが生成される。
- ・アップロード後は IOTA/EA のアーカイブ担当、および pCloud 契約時の管理者グループが管理する。

- ・具体的なサイトアドレスやデータ形式はキャンペーン観測リーダーまたは管理者から通知される。

#### 4. 一般的な命名規約

- ・詳細はキャンペーン観測ごとに適宜定める。
- ・一般的な例は以下の通りである。カッコは区切りを表し、ファイル名の文字ではない。

---

##### A. それぞれのキャンペーン観測のフォルダ名

管理者が作成する。

{yyyymmdd}\_{asteroid number}\_{asteroid name}

例： 20221021\_3200\_Phaethon

2022年10月21日に起きた(3200) Phaethon による掩蔽観測の場合

##### B. 個人がアップロードする時に個人が指定するフォルダ

{Firstname}{Lastname}を推奨する(基本的には区別がつけば任意)。

例: HirotomoNoda

苗字が Noda、名前が Hirotomo という人の場合

##### C 動画ファイル

SharpCap 等キャプチャーツールがつける元のファイル名の前に必要な項目を追加する。

{yyyymmdd}\_{asteroid number}\_{asteroid name}\_{first observer}\_{original file name}.avi

例: 20221124\_3200\_Phaethon\_HirotomoNoda\_02\_24\_30.avi

2022年11月24日に起きた(3200) Phaethon による掩蔽について、“SharpCap”が付けたもともとの動画ファイルの名前が 02\_24\_30.avi で、名前が Hirotomo、苗字が Noda という人が観測を行ったか、複数名で観測した時のリーダーである場合.

##### D. その他の取り決め

- ・同姓同名の観測者の場合
  - i) 個別のフォルダ名を各自工夫して区別がつくようにする

例: 0003HirotoMoNoda, HirotoMoNoda0003, HirotoMo0003Noda, 等.

ii) 動画ファイル名には名・姓の前に IOTA/EA の ID 等を付与して区別がつくようにする

例: 20221124\_3200\_Phaethon\_0003HirotoMoNoda\_02\_24\_30.avi

・同じ晩の同天体による現象を一人が観測した場合

天体名の後に順番を表す番号を付ける。番号は観測とりまとめ役が提案する。

例：

20221124\_3200\_Phaethon1\_HirotoMoNoda\_02\_24\_30.avi

20221124\_3200\_Phaethon2\_HirotoMoNoda\_03\_47\_10.avi

最初の掩蔽が 2022 年 11 月 24 日の 02h24m30s に、二つ目が同じ日の 03h47m10s に開始した場合。

・その他、管理の都合により、管理者が適宜ファイル名、フォルダーを変更することがある。

---